

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
地理歴史	地理総合	2	必修 (16期生以降)	講義	35	☐	☐	☐	再
						※4年次:16期のみ			
学習目標	持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して、グローバル・ローカルの両視点から現代の地理的な諸課題を考察する。汎用的・実践的な地理的技能を習得する。								
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○地図や地理情報システムで捉える現代世界 ○生活文化の多様性と国際理解 ○地球的課題と国際協力 ○自然環境と防災 ○生活圏の調査と地域の展望							
教科書 副教材等	46	帝国	地総703	『高等学校 新地理総合』(帝国書院) 地図帳『標準高等地図』(帝国書院)					
留意事項	○「地理総合」は卒業までに2単位履修しなければならない(16期生以降)。 ○文系学部の大学へ進学を考えている生徒は、1年次での履修が望ましい。 ○ワークシートをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	☒ 出席状況	☒ 授業への取組	☒ 課題等の提出	☒ 定期考査					
以上の点を総合的に評価する。									
履修条件	☐ 令和4年度新入生以降の生徒である。(3年次の年次指定科目)								
セルフチェック	☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『中学校の地理が1冊でしっかりわかる本』(宮路秀作)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
地理歴史	歴史総合	2	必修 (16期生以降)	講義	35	☐	☐	☐	☐
						※4年次:16期のみの履修			
学習目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、近現代の歴史を考察、構想すること。								
主な学習計画	1年間の学習	○歴史の扉(歴史と私たち・歴史の特質と資料) ○近代化と私たち(結び付く世界と日本の開国・国民国家と明治維新など) ○国際秩序の変化や大衆化と私たち(第一次世界大戦と大衆社会など) ○グローバル化と私たち(冷戦と世界経済・世界秩序の変容と日本など)							
教科書 副教材等	46	帝国	歴総706	『明解 歴史総合』(帝国書院)					
留意事項	○「歴史総合」は卒業までに2単位履修しなければならない(16期生以降)。 ○文系学部の大学へ進学を考えている生徒は、1年次での「地理総合」との同時履修が望ましい。 ○ワークシートをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☒ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	☐ 令和4年度新入生以降の生徒である。(4年次の年次指定科目)								
セルフチェック	☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『世界の歴史(中公文庫)』								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
地理歴史	世界史A	2	必履修 (15期生まで)	講義	35	-	-	-	再
						※4年次:15期まで			
学習目標	○近現代を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら学ぶ。 ○歴史上重要な事象を中心に基礎的知識を獲得し、歴史的なものの見方や考え方を身に付ける。								
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○一体化する世界(大航海時代の世界、アメリカとフランスの革命、産業革命 等) ○19世紀の欧米世界(アジア諸国とヨーロッパの進出、帝国主義の時代 等) ○現代の世界と日本(第一次世界大戦と民族主義、ファシズムの台頭と第二次世界大戦、米ソ冷戦とアジア・アフリカ 等)							
教科書 副教材等	46	帝国	世A314	『明解 世界史A』(帝国書院) 『ニューステージ 世界史詳覧 白地図集付』(浜島書店)					
留意事項	○「世界史A」は卒業までに2単位履修しなければならない(15期生まで)。 ○世界史での一般受験を考えている生徒は「世界史演習Ⅰ・Ⅱ」をあわせて履修することが望ましい。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	☒ 出席状況		☒ 授業への取組		☒ 課題等の提出		☒ 定期考査		
以上の点を総合的に評価する。									
履修条件	☐ 現在4年次以上である。								
セルフチェック	☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『世界史用語集』(全国歴史教育研究協議会)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
地理歴史	日本史A	2	必修 (15期生まで)	講義	35	-	-	-	再
						※4年次:15期まで			
学習目標	○近現代史を中心に、日本の歴史を当時の国際情勢と関連付けながら学ぶ。								
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○近代日本の形成(国際情勢の変化と明治維新、明治新政府の諸改革、立憲国家の成立 等) ○東アジア世界の変動と日本(日清戦争と近代社会の確立、日露戦争と帝国日本の形成 等) ○二つの世界大戦と日本(第一次世界大戦と帝国日本、軍国日本への道、太平洋戦争 等) ○第二次世界大戦後の国際社会と日本(現代世界の開幕と日本の戦後改革 等)							
教科書 副教材等	2	東書	日A308	『日本史A 現代からの歴史』(東京書籍) 『新詳日本史』(浜島書店)					
留意事項	○「日本史A」は卒業までに2単位履修しなければならない(15期生まで)。 ○日本史での一般受験を考えている生徒は「日本史演習Ⅰ・Ⅱ」をあわせて履修することが望ましい。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	☒ 出席状況		☒ 授業への取組		☒ 課題等の提出		☒ 定期考査		以上の点を総合的に評価する。
履修条件	☐ 現在4年次以上である。								
セルフチェック	☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『生きづらい明治社会 ― 不安と競争の時代 ―』(松沢 裕作)								

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

地歷

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

授業選択の話②

「登録」「履修」「修得」それぞれの違いわかりますか？

シラバスには「登録」「履修」「修得」が何度も出てきます。その違いを確認しておきましょう。

(学校生活の手引きにも載っています)

登録 … 授業登録のこと。登録していない科目の授業には参加できません。

履修 … 登録した科目の授業を受け、出席が基準を満たすこと。本校では、年度末に行われる成績会議で、各科目の年間の法定授業時数（1単位 35 時間）の3分の2以上の出席をもって履修を認めます。

各科目の欠課時数が3分の1を超えると履修は認められず未履修になります。

必修履修科目が未履修になると、履修できるまで再履修が必要です。

修得 … 履修が認められた科目の学習成果が科目の目標に達している(評定が2以上)場合に単位修得が認定されます。卒業には74単位の修得が必要です。

* 評定2～5：履修○、修得○

(科目の目標を達成しているので、評定2以上は単位の修得が認定されます。)

* 評定1：履修○、修得×

(履修は認められますが、学習成果が不十分であるため単位の修得は認定されません。)

★この用語説明は、あくまで「学校内ではこういう意図で用語を使い分けているよ」という意味です。奨学金の計算など、場合によっては言葉の意味が違う場合がありますので注意が必要です。

